

地質館だより



幻の石鍬化石湖

西日本の最高峰、石鍬山。古くから修験道の山として知られ、空海もここで修行したと言われています。

この石鍬山のある場所には、かつてはなんと湖がありました。「石鍬化石湖」と呼ばれるこの湖は、今から2000万年前に海水面に近い標高の場所で発生し、その後1500万年前の火山活動により、今の標高まで押し上げられました。

2000万年前は、日本列島が大陸から切り離され始め、日本海が発生し始めた時期であり、1500万年前は四国全体が大きく隆起した時期にあたります。おそらく、石鍬化石湖は2000万年前の地殻変動の時にできた地表のしわに溜まった湖であり、その後の四国の隆起に伴う火山活動でできた石鍬山の火山岩の下に埋まっていたのでしょう。

このように石鍬山は、人類の歴史だけではなく地球の歴史も今に伝える場所なのです。



佐川地質館の石鍬化石湖の展示

展示解説：6月25日（土）12:00～・15:00～ 「海に帰った生き物たち」

青山文庫だより

牧野富太郎①生家について

今年、牧野富太郎生誕160年を祝う様々な行事が開催されますし、来春からはじまる朝ドラの主人公のモデルにも決まり、早くも富太郎ブームが来ておりますので、しばらく富太郎に関する事を少しずつ紹介していこうと思います。今回は生家についてです。

富太郎は、西町で造り酒屋を営む「岸屋」に生まれます。実は、富太郎が生まれた頃の岸屋は複数あるのですが、まずは、岸屋全体の先祖について紹介します。江戸時代に書かれた「先祖書指出」という、佐川の商家が自分たちの家の先祖や経歴をまとめて役場に差し出した記録によると、岸屋一族の先祖は、紀州南加郡岸（現在の和歌山県紀の川市／旧那賀郡貴志周辺）に元々は居たそうで、「鈴木」という苗字を名乗る武士でした。そこから、戦国末から江戸時代の初め頃に、佐川へ移住してきて、町人になったそうです。つまり、「岸屋」という屋号は、先祖の出身地に因んで付けられているのです。

また、「佐川産物往来」という、江戸時代の佐川領（深尾領）の名産品を各地区ごとに列挙した手習いの本には、「岸屋の菊

の露」と出てきていて、岸屋が造っていた酒の名前が「菊の露」だとわかっています。残念ながら、岸屋の詳細についてはこの2つの資料だけではわかりませんが、町人の中でも領主への御目見得（謁見）が許される身分となり、町役をつとめる旧家のひとつに成長していったようです。

そして、その過程で、岸屋はいくつかの分家に分かれてゆき、富太郎の生家は、岸屋本家3代目の子が分家した家のさらに分家となります。もちろん、岸屋を名乗るのは分家した親族だけではなく、商売としてのれん分けした店があった可能性もあります。

「慶応三年佐川郭内図」という幕末の絵図には、御土居から広がる城下町が描かれています。その中に岸屋は7軒出てきます。このうち2軒は富太郎の生家で、別の2軒は同じ岸屋辰五郎の名前で出ています。そうすると、この絵図から岸屋を名乗る家が5家あった事がわかります。

〈展示案内〉

○牧野富太郎生誕160年記念特別展「牧野富太郎と佐川（前期）」

○小展示「志士たちの遺墨」

○学制150年記念小展示「佐川の学校」

6月11日（土）～9月4日（日）

（お知らせ）

展示替作業のため6月7日（火）から10日（金）は臨時休館します

広告

整体・カイロプラクティック 完全予約制 誠心流手技整体療法

住所 高岡郡佐川町中組1727-1

TEL 090-3188-1054

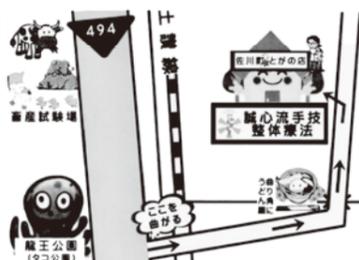
施術日 金曜日・土曜日

【月・火・水は高知市前里店で
施術を行っています】

定休日 日曜日・祝祭日・木曜日

施術料金 初見料 ¥3300. 施術料 ¥5500.

【さかわ】を見た！と言ってくれた方♪ 初見料 ¥3300.が ¥1500.になります♪



QR誠心流整体HP

広告

あなたらしい生活を応援します♡ 株式会社 ケアセンターさかわ

- 居宅介護支援（ケアマネージャー）
管理者：徳弘 和義 主任：尾崎 俊一郎
山下 美智、豊田 薫、岡林 眞理
梅原 艶、中平 綾、岡林 利美
- 訪問介護・訪問入浴介護（ホームヘルパー）
管理者：山本 君子 主任：片岡 佐与
他 ホームヘルパー 26名



ご相談ください。
0889-22-0622

ケアセンターさかわ総勢36名で丁寧な対応を心がけ、皆さんの生活を支援させていただきます。介護の不安等ある方はご相談ください。